

低炭素社会の実現に向けて

～地域エネルギーの創生と防災センターとしての清掃工場～

東日本大震災後の原子力発電所停止により、我が国の電力供給における化石燃料への依存度は、震災以前に比べ約10%高くなりました。その後、米国発のシェール革命等の影響により、石油価格は急落していますが、太陽光発電を始めとするFIT電源の拡大による国民負担は急増傾向にあります。このようななか、廃棄物処理の広域化、ごみ発電の高度化、施設内電力消費の低減により、清掃工場が地域エネルギーの創生、災害に対する防災など地域になくてはならない施設に生まれ変わることが期待されています。

2015年 **6月30日(火)**

13:30～16:30

場所 北トピア つつじホール

(JR京浜東北線王子駅北口徒歩2分、東京メトロ南北線王子駅5番出口直結)

定員 300名 (座席の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費 下記協賛団体正会員: 3,000円 下記協力団体会員: 5,000円 非会員: 10,000円
自治体職員: 4,000円 学生: 2,000円

主催:(株)廃棄物工学研究所 特別協力:公立鳥取環境大学 後援:環境省(申請中) 協賛:(一社)日本ガス協会

協力:(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)環境衛生施設維持管理業協会、(公社)全国産業廃棄物連合会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本廃棄物コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、(一社)廃棄物資源循環学会、有害・医療廃棄物研究会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、産業廃棄物処理業経営塾、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム

プログラム

13:30 開会の挨拶・シンポジウム企画趣旨

公立鳥取環境大学 学長 高橋 一
公立鳥取環境大学 客員教授 田中 勝

13:50 基調講演:循環資源・バイオマス資源を用いた創エネルギー化と防災拠点に向けて

環境省大臣官房廃棄物リサイクル対策部廃棄物対策課
課長 和田 篤也 氏

14:15 特別講演:持続可能で強靱な廃棄物処理システム

国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター
センター長 大迫 政浩 氏

14:45 休憩

15:00 技術解説:廃棄物発電の高度化～ソフト技術による増強方策～

(一財)日本環境衛生センター常務理事 藤吉 秀昭 氏

15:30 技術解説:廃棄物発電の高度化～ハード技術による増強方策～

(一社)日本環境衛生施設工業会技術委員会
副委員長 近藤 守 氏

15:50 質疑応答・パネルディスカッション エネルギーの創生と防災センターとしての清掃工場

コーディネーター: 田中 勝 パネリスト: 上記講演者

16:30 閉会

お申込み方法

- ホームページ(<http://www.riswme.co.jp>)より参加申込用紙をダウンロードし、FAX 086-239-5303にて、お申し込みください。
- E-mailでお申込の際は、裏面に記載してある申込内容をご記入の上、info@riswme.co.jp にお送り下さい

お振込先

- りそな銀行 芝支店(普)1490768 か)ハイブツコウガクケンキュウシヨ
※参加費は事前振込でお願い致します。また、お振込名について参加代表者個人名でお願い致します。